

第1回 groupHome MeTHoD 地域連携推進会議

議事録

日時：2026年3月10日（火） 15:30～

場所 groupHome MeTHoD 事務室

出席者：地域の方として マンションオーナー様

福祉に知見のある方として 高齢者施設長等経験者 Hさん

地域の福祉関係者として 近隣の就労継続支援事業所の職員さん2名

groupHome MeTHoD 職員 山下・尾田

議事

定刻となり、groupHome MeTHoD 施設長の山下が司会を務め、第1回 groupHome MeTHoD 地域連携推進会議を開催した。

出席していただいた構成員のみなさんについて簡単な紹介があったのち、施設長から挨拶と本会議についての説明があった。

施設長挨拶

今年度より、

- (ア) 利用者との関係づくり
- (イ) 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- (ウ) サービスの透明性・質の確保
- (エ) 利用者の権利擁護

を目的とした地域連携推進会議の開催が義務付けられました。

ついでには、当グループホームでも、意義ある会議とするためにご協力をお願いしたい。

会議の構成員については、利用者ならびに利用者家族を含めることが求められておりますが、当グループホームにおいては、この会議に利用者の方の出席を求めることには慎重な対応をしたいと考えます。

権利擁護ならびにプライバシーの観点はもとより、利用者にも心理的・精神的負担をかけることは望ましくないと判断し、今回は構成員に含めることはしませんでした。

しかし、当グループホームでは2023年度に第三者評価機関による評価を受審し、その際に評価機関の評価員の方により個別に職員のいないところで丁寧な聴き取りをしていただいております。

そこで、この会議の開催が必要なことや、そこには利用者のみなさんの意見を反映したいこと、当グループホームのこの会議についての考えを、利用者のみなさんに個別に説明し、過去の第三者評価のアンケート結果を匿名の状態、この会議に使用することについて、みなさんから許可を得ることにしました。

本日の会議では、その利用者のみなさんの声を利用者の意見としてご検討いただきます。

当グループホームの現在の利用者のみなさんのご家族にも依頼できませんでした。

groupHome MeTHoDとしては、「地域」との連携ということについて、「ここに精神障害と呼ばれる障害を持つ人が住んでいる施設がある」とか「この人は精神障害者のグループホームを利用している人だ」ということを近隣地域の人に知っていただきたいとは考えておりません。

groupHome MeTHoDでは、なによりも、できるかぎり、普通に地域の賃貸マンションに住んでいる人として、利用者の方が安心して生活していくことを実現したいと考えています。

そのため、当グループホームが部屋をお借りしているマンションに、ご自身もお住いのオーナーの方に地域の方としてご参加いただきました。

また、疎遠なご家族とちがい、当グループホーム利用者の方が通所していて、日常接してくださっている就労継続支援B型施設の職員のお二人にもご参加いただきました。

福祉と経営に知見のある方として高齢者施設の施設長等のご経験のある方にも参加していただきました。

今回は第1回の会議ということで、今後の会議のあり方も含めご意見をいただければと思いますのでよろしく願いいたします。

施設見学ならびに groupHome MeTHoD の活動について

全員で groupHome MeTHoD 交流室に移動し、施設見学とした。

山下より、プライバシーの観点から利用者の居室を見学していただくことは避け、全利用者が自由に利用できる交流室の見学としたことが説明され、間取りは各居室と同じであることが説明された。

尾田より、交流室は全利用者がカギを持っていて24時間自由に利用できることや、すでにグループホームを退居して近隣で一人暮らしをしている人も、夜などに寄ってきていて、現在の利用者の方からも退居したのちに相談に来られる場所だという理解につながっていると説明があった。

また、月に2回の夕食会を行っていて、体調などで希望により自室で食べたい人には届けていることも説明された。

2023年度第三者評価に基づく入居者のみなさんの声について

ふたたび事務室に移動して議事に進んだ。

全員に2023年度第三者評価の評価書からの抜粋で入居者聴き取り調査の報告部分のコピーが配布される（閉会后回収）。

山下からは、利用者からの職員への信頼が高い評価となっているので、今後も利用者の方の信頼に応えられるよう努力していきたい考えと説明された。

利用者の虐待防止と権利擁護のための取り組みについて

山下から、利用者の虐待防止と権利擁護のための当グループホーム独自の取り組みとして、すべての利用者に、それぞれに福祉サービス利用計画のために計画相談事業所の職員の定期的な訪問があるので、グループホーム職員のいない場で計画相談の職員の方から利用者へのグループホームへの要望等の聞き取りとグループホームへの報告を願っているという説明があった。

意見交換

同じ建物内にお住いのマンションオーナーさんにご意見等をうかがったところ、「ゴミの分別なども問題はなく、また利用者の方に会ってもとくに心配な印象は受けない」とのことだった。

尾田からは、MeTHoDの特別なルールはないが、共同住居の住人としてのマナーを守ってくれるよう利用者の方にはお願いしていると報告があった。

その他

施設長より、参加していただいたみなさんに、この会議で知り得た利用者個人の情報等については口外しないようご注意くださいことと、精神障害と呼ばれる障害を持つ人のためのグループホームという施設があり、そのなかにgroupHome MeTHoDというところも（詳しい住所や利用者については除き）あることを、周囲の方にも共有していただければありがたいとの挨拶ののち、第1回groupHome MeTHoD地域連携推進会議を閉会とし17時散会した。

以上